



国家の羅針と選択

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

現実には第3次世界大戦を計画し、世界政府への移行を模索するもので有る。全ての現実への絶対的プレゼンスは否定できないので有る。

これらは常識的判断において選択はないのであり、現実に従うことが唯一の可能性で有る。しかし 3rd World という新しい世界ビジョンは、2極化する世界へ、その新しい未来ビジョンを提示するもので有る。

一つ留意すべきは、全ての国家首脳が、新世界秩序への合意を有することである。しかし朝鮮は、新しい世界ビジョンと共に、自己の行動を世界へ与えることで有る。

政治が人々へ希望を与えることは使命であり、現実には唯一失望と絶望であることは真実である。

これらは対話という可能性において、新しい世界の模索することができ、宇宙との新しい関係は、現実変化を与えることが存在するのである。

現在新しい未来という現実には全ての存在において否定できない。これら変化は想像以上に大きく、現実からの落伍者は存在するのである。

これは政治の使命が全ての人々への生活と未来の供与であるならば、現実という否定できない現状に対して、新しい未来を提案することはできるのである。

これら対立から融和という新しい世界の現実には、パイシスからアクエリアスへの変化であり、世界の混乱がウクライナ侵攻とコロナ禍において存在する中、新しい未来という現実を世界へ提案することはできるのである。

これらは苦しみのない世界という人類共有の理想を合意し、全ての国家が新しい世界という理想を共有することは、戦争でなく対話において実現できるのである。